

# Island Guide.

散策するだけで、メルヘンな時間



## 悠久の調べを聞く

島の入り口に見える民家の脇、階段登り口前にある銅像のボタンを押してみてください。追分をBGMにしながら、旅を始めましょう。



## 海の上を歩く

入口から始まる島の散策道は間もなく長い海上アーチ橋になります。海を真上からのぞき込むという、普段はできない体験を。



## 芝生を駆け巡る

海の目前に広い芝生があるなんて滅多にない。丁寧に手入れされていて、思わず素足になりたくなるはずです。車の来ない安全な遊び場です。



## 地球に腰掛ける

椅子なんていません。崖や岩場に腰掛ければ、より地球を直に感じられます。春はイルカ、冬はオジロワシを見つけれられるかも知れません。



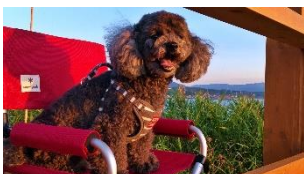
## 幸せの鐘を鳴らす

かもめ島は恋人の島、小さな非日常の島。いま幸せでも、べつに願ひ事がなくても、訪れた証として鳴らしてみましよう。



## 秘密のスポットを探す

島の中には無数のフォトジェニック・ポイントが。林に分け入らないと見ることでできない景色、見上げないと気付かないこともたくさんあります。



## ペットと過ごす

芝生がペットの足にも優しいので、多くの人が散歩に訪れます。フリスビー遊びもはや見慣れた光景。飼い主さん同士の交流もできるかも。



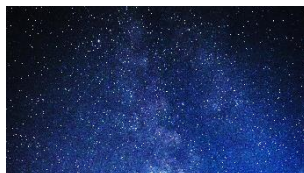
## 別の惑星に立つ

日本海側の岩場、千畳敷やクズレ鼻エリアには下りることができます。流紋や亀裂・葉理などの地質の模様が、非日常を感じさせてくれます。



## 本当の夕陽に会う

海のパノラマに沈む夕陽こそ大正義。しばらく見惚れてください。そして日没後、日によって異なる色彩で染まる島の空気感も是非知って欲しいです。



## 天の川を捕まえる

神社横の木立に囲まれた広場や南半島など、町や灯台の灯りを避けられる場所では、満天の星空と天の川に出会えます。



## 碧い鳥を探す

島に一年中いるインヨヒドリのオスはメタリックブルー。春は素敵なさえずりも聞かせてくれます。ほかに綺麗な鳥が多いので見逃さずに。



## 海の欠片を拾う

シーグラスやメノウ、貝殻など海の漂着物をコレクションすることを「ビーチコミング」と呼びます。ビーチでは足元も見てみましょう。



## 灯台守に化ける

展望デッキにいただけで気分は灯台守。もし灯台内部を見てみたいなら、気軽に声を掛けてください。特別に内部をご案内します。



## ウチら参上!

流木を拾って砂に絵やメッセージを書いたり、石や貝を並べたり。難しいことじゃないけれど、時間を忘れられる過ごし方です。



## 瞑想する

ボーっとするのも旅では大事。沖に行く船、海流の色差、水面ギリギリを飛ぶ見知らぬ鳥、草陰から見つめている可愛いヤチネズミに気付くかも。



## カラフルカゲと遊ぶ

階段や散策道ではカラフルなニホントカゲや人気者のカナヘビが日向ぼっこをしています。持ち帰らず、眺めたり触れ合ったりして楽しんでください。



## フットパスに従う

入口から海上遊歩道を経由して反時計回りに島を一周します。案内看板と順路杭に従って歩くとだいたい1.5時間ほどで戻れます。



## 秘密のお花畑を探す

春を告げるキバナノアマナやエンゴサクの群落、可憐なツリガネニンジンや色とりどりのノブドウ。神社の境内や林の中にも目を向けてみてください。



## ドケチの神様にお参りする

敵島神社は別名「やらずの明神」。江差で稼いだお金を使わず持ち帰る人を懲らしめてきました。気難しい神様のご機嫌を取るため、ご挨拶を。



## タコのお宅訪問

日本海側の岩礁部には大小さまざまな縦穴（通称：エンカマ）が。タコの棲み処として伝えられた神秘的な穴を、いくつ見つけられるでしょうか？



## ほかの島を見つける

フェリーで行ける奥尻島のほか、日本最大の無人島、渡島大島が見えます。日本のセブンスターズ「シラフラ」やユーラップ岳もしっかり見えます。